

資料室だより 84

Monumenta Monodica Medii Aevi, Band V: Antiphonen (Bärenreiter)

MD/M815/V1~3

中世単旋律音楽集成とでも訳すべきでしょうか、MMMA という略語で知られている叢書を資料室は創設当時から少しずつ集めています。ここにご紹介するのは本科第27期卒業生からの寄付金で購入したもので、3巻本からなります。上記のようにこれはアンティフォナ集です(楽譜は五線譜による解読譜)。

ここに集められたアンティフォナはパレオグラフィー・ムジカーレから、またアンブロシウス聖歌は The Antiphons of Ambrosian Office (Bailey, & Merkely)、古ローマ聖歌は Nowacki の学位論文 Studies on the Office Antiphons of the Old Roman Chant から集められています。キリスト教古代から受け継いだ伝統的なものに加えて、中世後期の創作も含まれます。中世の終わりに向かってアンティフォナは次第に増え、ローカルな地域的なものを含めていくと膨大になりますのですべてを収録することは不可能ですが、2579曲のアンティフォナが所収されています。

配列は旋法順、そして同一旋法のなかは旋律類型に従って配列されています。ですから同じ発唱部をもつ同じ旋法の聖歌を一覧することができます。第1巻が第一旋法のみ602曲、2巻は第2~第6旋法まで、第3巻は第7~8旋法となっています。ちなみに、これを見ますと、旋法の内訳は、以下のとおりです。

- 第1旋法=602曲
- 第2旋法=204曲
- 第3旋法=181曲
- 第4旋法=331曲
- 第5旋法=151曲
- 第6旋法=198曲
- 第7旋法=322曲
- 第8旋法=590曲

旋律類型のグループごとの解説も付されていますので、中世音楽勉強の手引きとなるでしょう。この巻の校訂者は最近、グレゴリオ聖歌研究のめざましいハンガリー音楽学研究所の Laszlo Dobszay, Janka Szendrei です。

これは実践的というより学問的利用に適していますが、このような研究も存在するということを覚えておいてくだされば幸いです。

(杉本ゆり記)